

古代人の姿

〈古代日本の衣服の変遷〉

日本古代の服飾の歴史は、単に当時のファッションの変遷を見るだけでなく、日本の古代国家成立の過程を探る手がかりとなります。古代国家の形成は、「官僚制」「軍隊」「税制」の形成が指標になると考えられるからです。前近代社会の官僚制では、その個々の官人の身分によって衣服が異なりました。視覚的身分標識としての衣服制度の成立の経緯を、『古事記』『日本書紀』の中に探り、古代国家形成の過程を見極めます。



たけだ さちこ

講師：武田 佐知子氏
(大阪大学名誉教授)

平成
29年

10月14日 土

時間 14:00 ~ 16:00

会場 八雲立つ風土記の丘

参加費 一般 200円 友の会会員 100円

※申し込み不要。直接会場へお越しください。

講師プロフィール

武田 佐知子 (たけだ さちこ)

1948年 東京都生まれ。大阪大学名誉教授。著書に「古代国家の形成と衣服制一袴と貫頭衣」(吉川弘文館、初版：戊午叢書 1984年)、『礼服(らいふく)一天皇即位儀礼や元旦の儀の花の装い』(大阪大学出版会、津田大輔 共著、2016年) 専門は日本古代史、服装史、女性史。

2003年 紫綬褒章受章。

島根県立八雲立つ風土記の丘

(指定管理者：公益財団法人しまね文化振興財団)

〒690-0033 島根県松江市大庭町456

Tel:0852-23-2485 FAX:0852-23-2429

ホームページ：<http://www.yakumotatu-fudokinooka.jp>

問い合わせ先



友の会
会員募集中

- ・企画展・常設展入館無料
- ・刊行物をお届け
- ・風土記の丘展示図録が100円引き
- ・その他各種イベント情報を随時お届けします。